

## 「歯牙形態の類似性 ～基本三形態と上下臼歯～」

歯牙形態には形態を構成する定義がある。補綴物製作における天然歯形態の再現はその定義を知ることが大切である。天然歯形態は大まかに尖形、方形、円形の基本三形態に区分することができる。天然歯形態を形成する近遠心の隅角表徴、歯頸線の形状、隣接面観における唇側面の形状、切縁観における唇側面観の形状にて、天然歯形態の要素を知ることができる。これらの部分における観察から基本三形態において、それぞれの形態に属する形態の類似性を見ることができる。臼歯においても咬合面形態にそれぞれの部位においても形態の類似性を見ることができる。上顎中切歯における基本三形態の類似性と、上下臼歯部における形態の類似性を解説する。